

## 今期業況天気図

### 今期業況天気図

期間：令和6年10月～12月（売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較）

全業種総合の天気図は「小雨」で、総合業況DIは▲24と、前期▲19から5ポイント悪化した。

業種別では、製造業は▲18（前期差2ポイント増）と前期並み。飲食業・サービス業は▲21（前期差4ポイント減）が小幅の減少で、建設業は▲24（前期差7ポイント減）で若干の減少であった。小売業・卸売業が▲40（前期差14ポイント減）となり、急激に悪化した。

製造業は今年に入りゆるやかに回復が続いているが、建設業と小売業は前期から悪化の傾向が続いている。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲6	▲2	▲8	▲21	▲1
採算	▲21	▲13	▲19	▲34	▲23
仕入単価	▲65	▲73	▲72	▲74	▲53
販売単価	20	26	19	36	12
従業員	29	19	40	23	31
資金繰り	▲18	▲20	▲15	▲18	▲18
今期業況 (総合判断)	▲24	▲18	▲24	▲40	▲21
今期業況 天気図					

業況天気図凡例					<<景気観測調査>> 前年度同時期の景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。
快晴	晴れ	薄曇り	小雨	雨	
DI値 31以上	DI値 30～11	DI値 10～▲10	DI値 ▲11～▲30	DI値 ▲31以下	

### 参考) 今期業況天気図の推移

	全産業	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
3四半期前 令和6年1月～ 3月期					
2四半期前 令和6年4月～ 6月期					
1四半期前 令和6年7月～ 9月期					
今期 令和6年10月～ 12月期					

## 今期業況天気図

### 今期業況天気図(小規模事業者)

(商業・サービス業従業員5名以下、その他の業種20名以下)

期間:令和6年10月~12月(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)

小規模事業者のみの全業種総合のDIは▲30(前期差6ポイント減)で天気図は「小雨」。製造業は▲22(前期差6ポイント増)で小幅の改善であり、建設業は▲27(前期差10ポイント減)、飲食業・サービス業は▲31(前期差10ポイント減)、小売業・卸売業は▲53(前期差15ポイント減)に悪化した。小売業・卸売業の不調が続いている。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲13	▲7	▲9	▲33	▲15
採算	▲26	▲15	▲19	▲50	▲30
仕入単価	▲66	▲73	▲71	▲70	▲55
販売単価	12	17	15	25	2
従業員	23	14	39	16	19
資金繰り	▲23	▲23	▲17	▲30	▲26
今期業況(総合判断)	▲30	▲22	▲27	▲53	▲31
今期業況 天気図					

### 今期業況天気図(小規模事業者以外の中小企業)

期間:令和6年10月~12月(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)

全業種総合のDI値は▲12(前期差2ポイント減)と若干の悪化であった。天気図は「小雨」となった。

前期大きくダウンした建設業は▲8(前期差3ポイント増)と改善が見られる。飲食業・サービス業は▲9(前期差3ポイント増)で小幅の改善。製造業は▲11(前期差4ポイント減)で若干の悪化であった。小売業・卸売業は▲25(前期差17ポイント減)と大きくダウンした。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	7	8	0	▲9	15
採算	▲13	▲8	▲20	▲16	▲14
仕入単価	▲62	▲73	▲76	▲77	▲49
販売単価	34	44	40	47	24
従業員	39	29	48	32	44
資金繰り	▲8	▲12	0	▲5	▲8
今期業況(総合判断)	▲12	▲11	▲8	▲25	▲9
今期業況 天気図					






業況天気図凡例					景気観測調査
					<<景気観測調査>> 前年度同時期との景況を比較し、「良い/悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。
DI値 31以上	DI値 30~11	DI値 10~▲10	DI値 ▲11~▲30	DI値 ▲31以下	






## 次期見通し天気図

### 次期見通し業況天気図

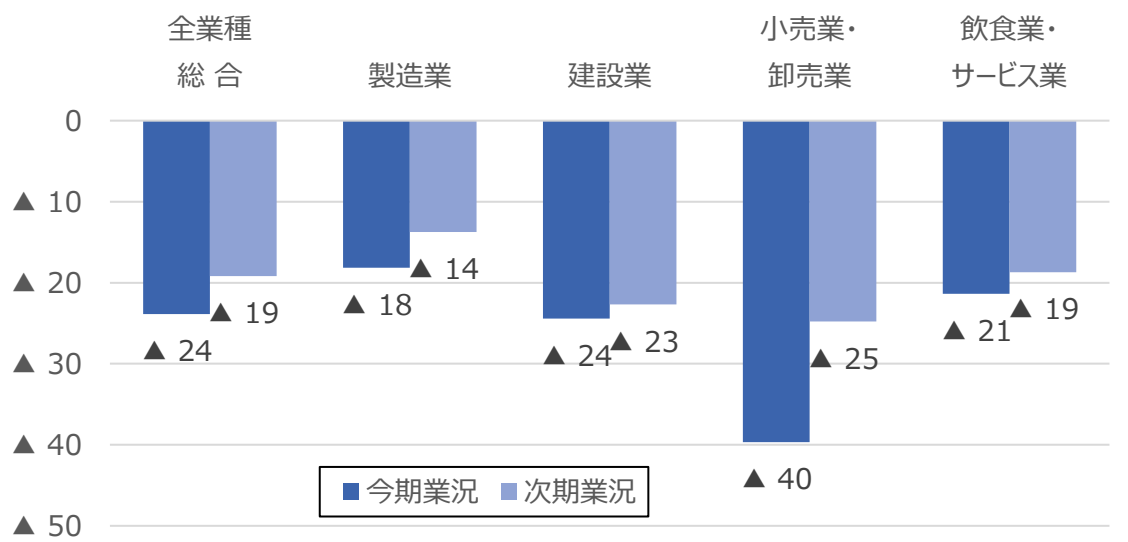
令和7年1月～3月見込(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しの天気図は、▲19(今期差5ポイント増)で、天気図は「小雨」の見込み。産業別にみると、小売業・卸売業は▲25(今期差15ポイント増)、製造業は▲14(今期差4ポイント増)、飲食業・サービス業は▲19(今期差2ポイント増)、建設業は▲23(今期差1ポイント増)と全業種において回復が見込まれている。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲ 8	▲ 5	▲ 13	▲ 16	▲ 4
採算	▲ 17	▲ 11	▲ 18	▲ 22	▲ 18
仕入単価	▲ 50	▲ 50	▲ 57	▲ 55	▲ 44
販売単価	11	9	10	27	6
従業員	24	15	34	19	27
資金繰り	▲ 16	▲ 20	▲ 13	▲ 13	▲ 16
次期業況 (総合判断)	▲ 19	▲ 14	▲ 23	▲ 25	▲ 19
次期業況 天気図					

業況天気図凡例					<<景気観測調査>> 前年度同時期の景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。
快晴  DI値 31以上	晴れ  DI値 30～11	薄曇り  DI値 10～▲10	小雨  DI値 ▲11～▲30	雨  DI値 ▲31以下	

### 参考) 今期と次期の業況DI








## 次期見通し業況天気図

### 次期見通し業況天気図(小規模事業者)






(商業・サービス業従業員5名以下、その他の業種20名以下)






令和7年1月～3月見込(売上・採算・資金繰り・仕入単価・販売単価・従業員・次期業況DI値は今期との比較)  
 全産業の次期見通しは▲24(今期差6ポイント増)で、天気図は「小雨」の見込み。産業別にみると、小売業・卸売業は▲28(今期差25ポイント増)は大幅な回復の見込み。飲食業・サービス業は▲22(今期差9ポイント増)も増加の予測。製造業は▲20(今期差2ポイント増)、建設業は▲27(今期差±0ポイント)と今期並みの予想である。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲13	▲9	▲18	▲25	▲7
採算	▲20	▲18	▲20	▲27	▲19
仕入単価	▲50	▲51	▲55	▲53	▲45
販売単価	7	4	8	23	2
従業員	19	12	31	14	15
資金繰り	▲21	▲27	▲18	▲16	▲21
次期業況(総合判断)	▲24	▲20	▲27	▲28	▲22
次期業況 天気図					

### 次期見通し業況天気図(小規模事業者以外の中小企業)

令和7年1月～3月見込(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)  
 全産業の次期見通しは、▲11(今期差1ポイント増)で、天気図「小雨」の予測。  
 産業別にみると、製造業は0(今期差11ポイント増)、建設業は0(今期差8ポイント増)と回復しDIがゼロになる見込みである。飲食業・サービス業は▲15(今期差6ポイント減)で若干の悪化、小売業・卸売業は▲21(今期差4ポイント増)と、若干の改善が見込まれる。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	1	3	16	▲5	1
採算	▲12	3	▲8	▲18	▲17
仕入単価	▲48	▲47	▲68	▲56	▲43
販売単価	18	20	24	32	12
従業員	35	21	48	25	42
資金繰り	▲8	▲6	12	▲11	▲11
次期業況(総合判断)	▲11	0	0	▲21	▲15
次期業況 天気図					

業況天気図凡例				
 快晴 DI値 31以上	 晴れ DI値 30～11	 薄曇り DI値 10～▲10	 小雨 DI値 ▲11～▲30	 雨 DI値 ▲31以下

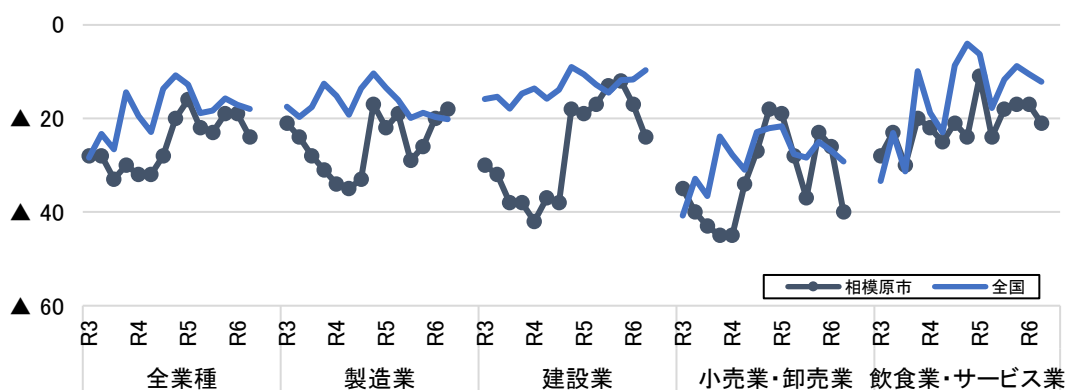
<<景気観測調査>>  
 前年度同時期との景況を比較し、「良い/悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。  
 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。

## 業況DIの推移

### 業況DI(前年同期比)の推移

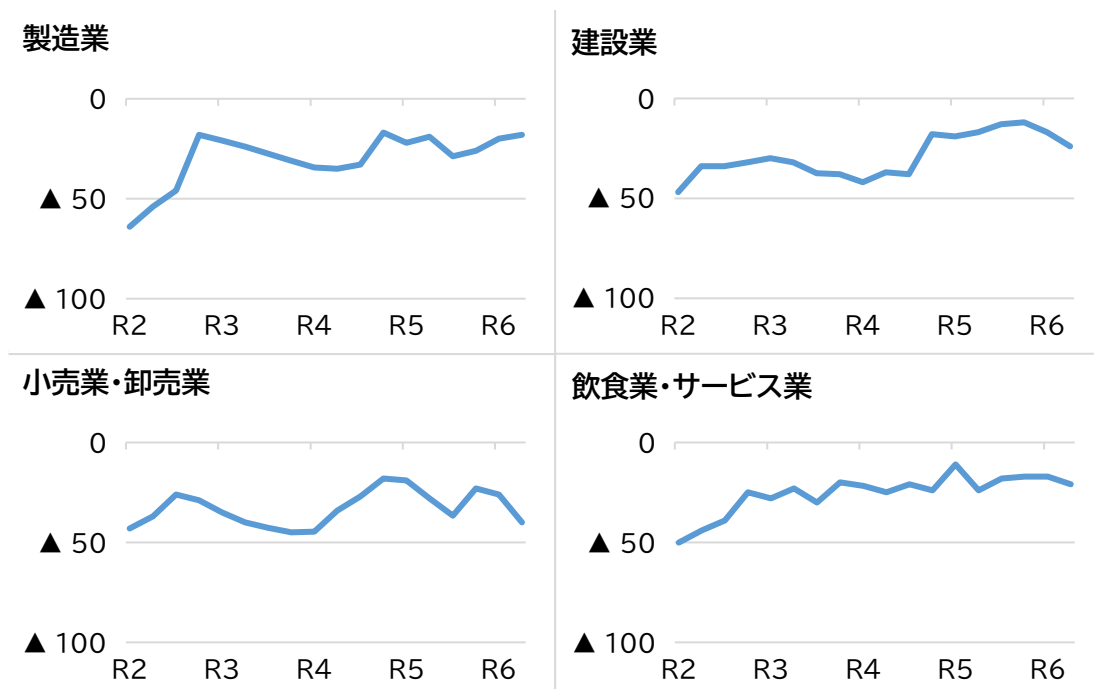
全産業の業況DIは、今期は▲24(前期差5ポイント減)で、振るわなかった。  
 産業別にみると、製造業は▲18と前期並み。飲食業・サービス業は▲21で前期からやや悪化。建設業は▲24、小売業・卸売業は▲40、と2四半期連続で悪化した。  
 全国と比較すると建設業、小売業・卸売業、飲食業・サービス業は全国よりも低い水準にとどまっている。

(令和3年10-12月期～令和6年10-12月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「業況判断DI」を使用。  
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用  
 ※業況DIについて、当所では「総合判断」、中小企業庁は「業況(自社)」を質問項目としている

### 参考)業況DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



## 業況DI(特徴的なトピックス)

産業別に寄せられた特徴的なトピックスは以下のとおりである。

### 【製造業】

- ・受注量の増加、人員不足。【電力機器、配電機器、免振・制振・制音デバイス、精密デバイス】
- ・収益率の低下と、企業による印刷物等の内製化。【デザイン、編集、印刷】
- ・季節的に売上が低下する時期だが、例年以上に不振だった。7年2月頃から好転する見込み。10月からの昇給、光熱費の上昇、賃借倉庫の値上げ交渉などで採算は悪化すると思われる。コスト削減は図るが、生産性向上のための投資はしていきたい。【各種製品の加工、検査及び包装】
- ・採算悪化傾向にあり、思い切った設備投資ができていないため、老朽化した設備を修理しながら使用しており、効率化の改善も難しい。【建設機械製品(シールド機、セグメントほか)】

### 【建設業】

- ・補助金による特需があつて好調ではあり、来年も引き続き補助金を行う予定とのことではあるが昨年から続いている補助金の今期2期目を迎え昨年と比べ依頼数が減ってきている為、来季への期待が薄目。【エクステリアの工事 販売】
- ・公共、準公共工事の発注は堅調だが、資材価格、人件費高騰により採算面では楽観できない状況が続く。【建設業】
- ・お客様の要求が多い。レベルが高い。ネットの価格が相場と勘違いしている。実勢価格との乖離。【リフォーム】
- ・工事受注は1年先の計画も施工依頼が来ている状況ですが、工事量自体が減っていると思います。また、繁忙期と閑散期がはっきりと分かれてしまっているので、仕事が分散されれば特に問題はないですが一気に仕事が舞い込んで来る為、経費が通常より掛かり、負担になっている

### 【小売業・卸売業】

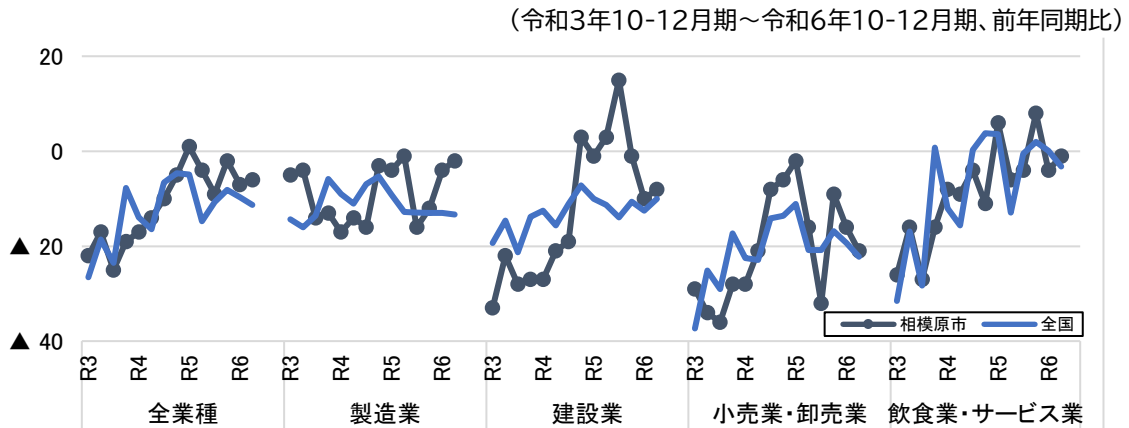
- ・リフォーム、相手先に環境改善への提案が実を結びつつある。【家電品販売及太陽光、LED化等の電気工事】
- ・電気・ガス・水道・灯油・ガソリン・食事に関わる値上げが長期に値上げし続けて、消費者が財布の紐の固い品目に当たり来客数が減っている、買い控え、困っている。休みなし営業している。相模原市も東京都のような還元セールしてもらいたい。【メガネ、補聴器、コンタクトの相談、検査、調整、販売、アフターメンテナンス】
- ・メーカーの新車標準装備品が増えることで、ナビ、ドラレコなどの電装品販売が落ち込み続けた。【カーショップ、メンテナンス、自動車保険、新車、中古車販売、キャンピングカー製作】
- ・若い層の顧客の減少。リピーターのお客様で何とか営業しているような感じです。ネットでは分からない使い心地をアピールしています。【オーダーカーテン、カーペット、インテリア小物販売】

### 【飲食業・サービス業】

- ・銅相場上昇で売上アップ。設備処理能力不足、従業員不足。【産業廃棄物リサイクル】
- ・お客様がたくさん増えて予約がいっぱいです。【全体の施術】
- ・同じ業界でも調子の良い会社と悪い会社と2極化が進んでいると同時に、同業者の高齢化による廃業も進んでいるように感じます。【産業機械の設計製図および製造】
- ・飲食店の厳しさ、JR相模原周辺が閑散としている。【飲食業・宿泊業】
- ・運転手の不足と運転手の高齢化、募集しても人が集まらない。また、2種免許が必要となっているため採用の基準が高くなってしまふ。【貸切旅客運送事業、乗合旅客運送事業】
- ・賃貸物件18~22㎡1K(ワンルーム)空室多い。物件高でリフォーム代金増、人件費増、(時給上げてても求人来ない)。【不動産賃貸管理業仲介】

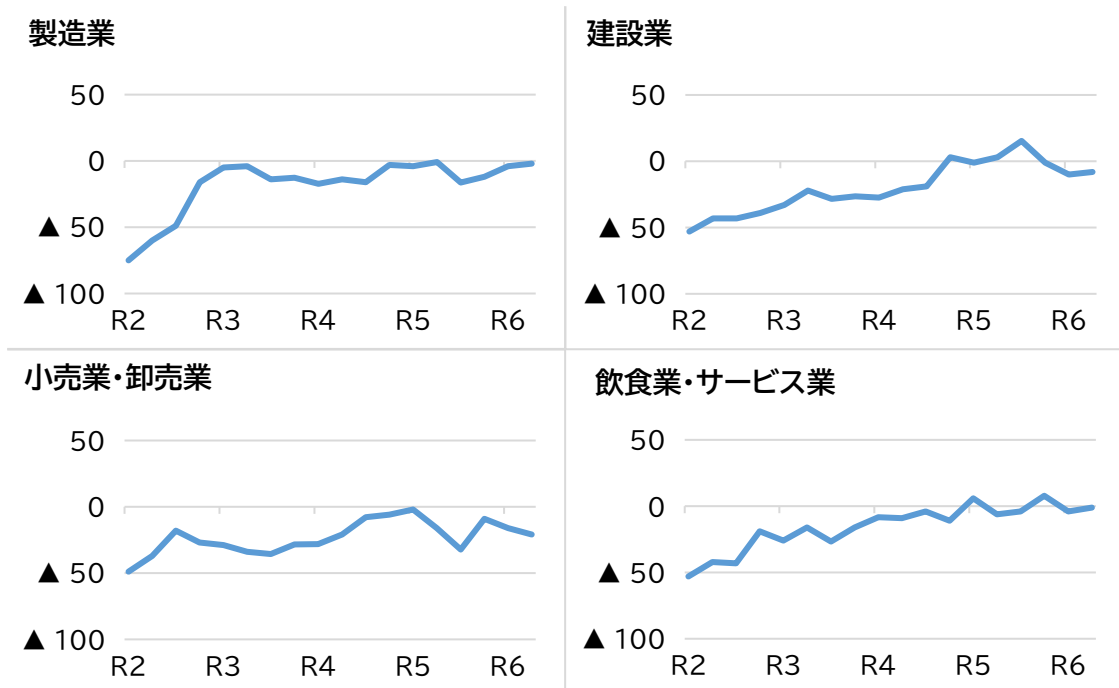
### 売上DI(前年同期比)の推移

全産業の売上DIは、▲6(前期差1ポイント増)と、前期並みであった。  
 産業別にみると、製造業が▲2、建設業が▲8、飲食業・サービス業が▲1と前期並み。小売業・卸売業は▲21で前期から低下した。  
 全国と比較すると、製造業がやや当市の方が好調である。



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「売上額DI」を使用。  
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

### 参考) 売上DI(前年同期比)の長期推移(業種別)

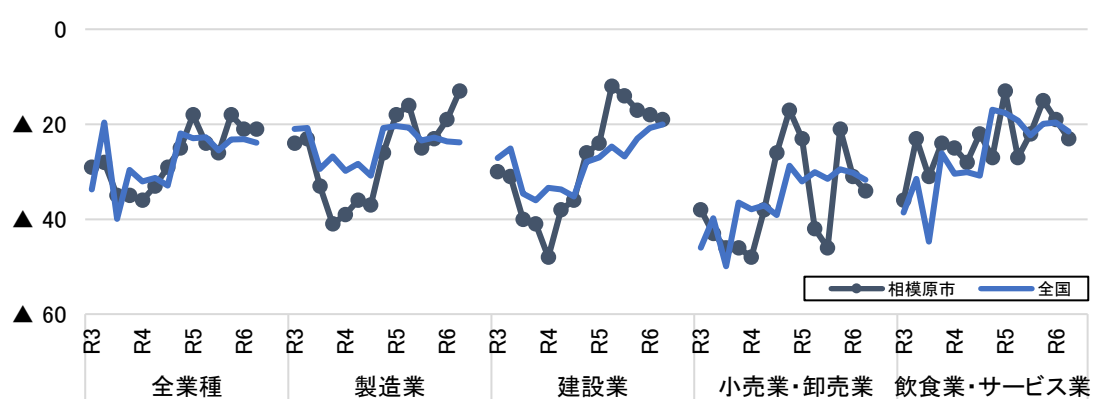


採算DIの推移

## 採算DI(前年同期比)の推移

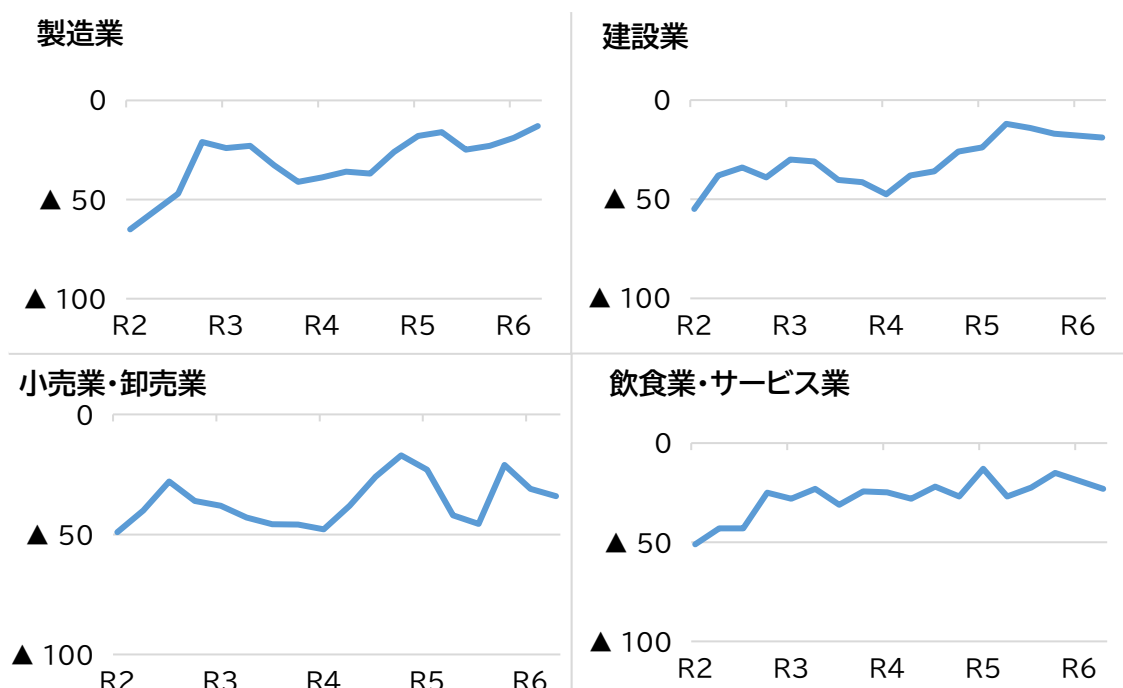
全産業の採算DIは、▲21(前期差±0ポイント)で、変わらなかった。  
 産業別にみると、製造業が▲13と前期に引き続き改善した。建設業は▲19で前期並み。飲食業・サービス業は▲23、小売業・卸売業は▲34と若干悪化した。  
 産業別に今期の数値を全国値と比較すると、製造業が全国よりやや高い水準となった。

(令和3年10-12月期～令和6年10-12月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用  
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用  
 ※採算DIについて、当所では「採算」、中小企業庁は「経常利益」を質問項目としている

## 参考) 採算DI(前年同期比)の長期推移(業種別)

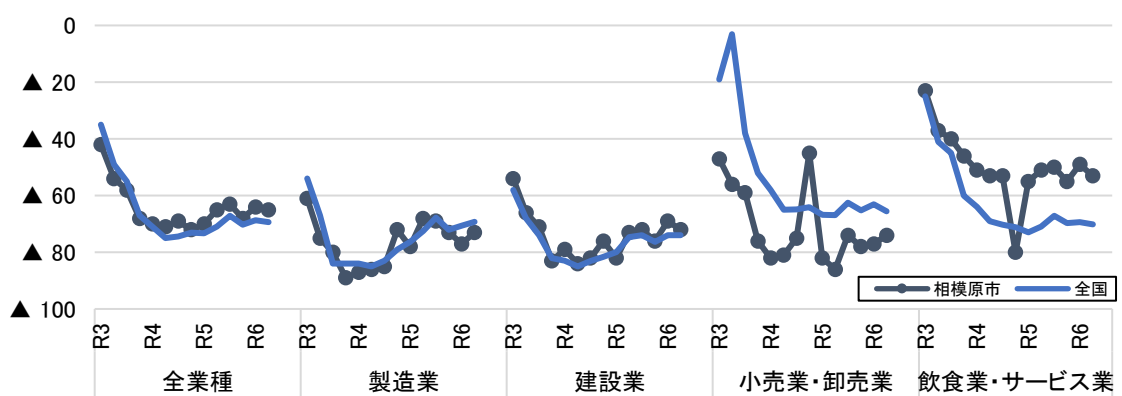




### 仕入単価DI(前年同期比)の推移

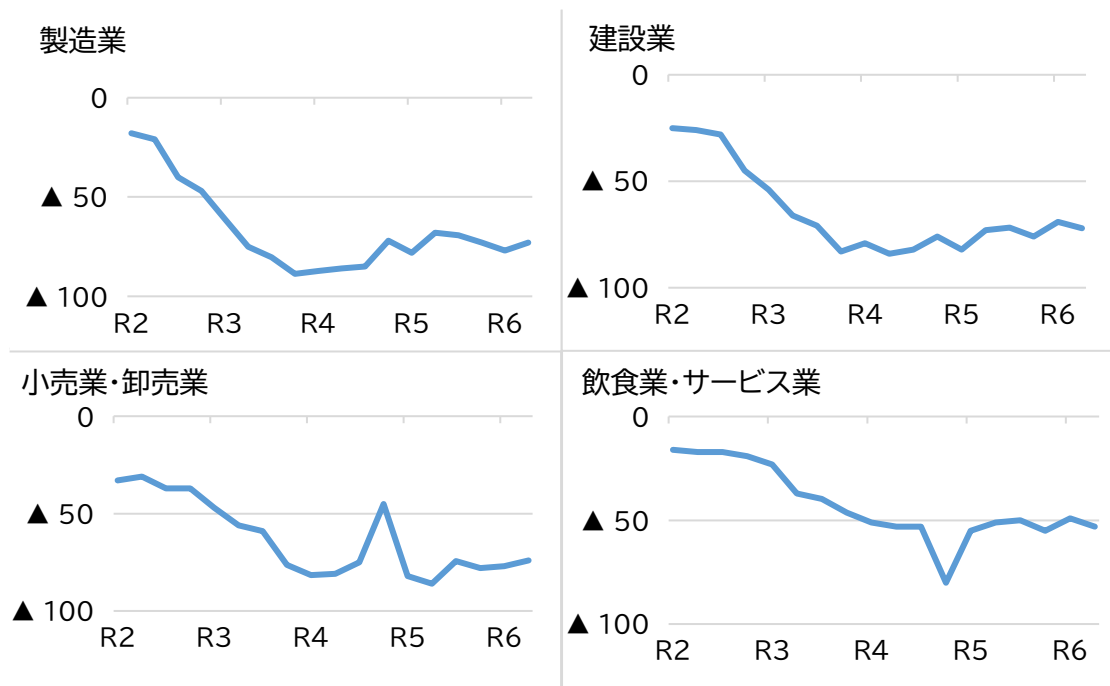
全産業の仕入単価DIは▲65(前期差1ポイント減)で、ほぼ変わらなかった。  
 産業別にみると、飲食業・サービス業が▲53、建設業は▲72、製造業が▲73、小売業・卸売業は▲74といずれも若干の悪化であった。  
 全国と比較すると、小売業・卸売業は全国より悪く、飲食業・サービス業は状況が良い。

(令和3年10-12月期～令和6年10-12月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「原材料・商品仕入単価DI」を使用。  
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用  
 ※仕入単価DIについて、当所では「DI=下落—上昇、中小企業庁は「上昇—低下」で算出。  
 比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

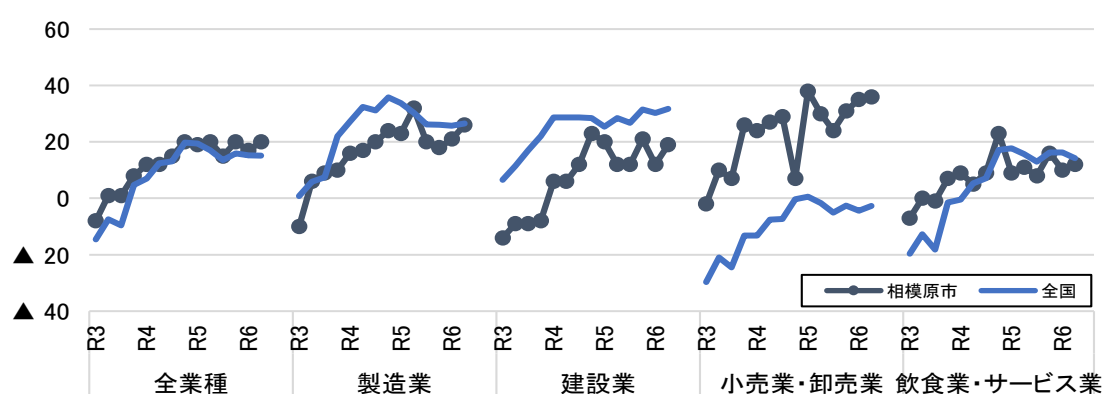
### 参考) 仕入単価DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



### 販売単価DI(前年同期比)の推移

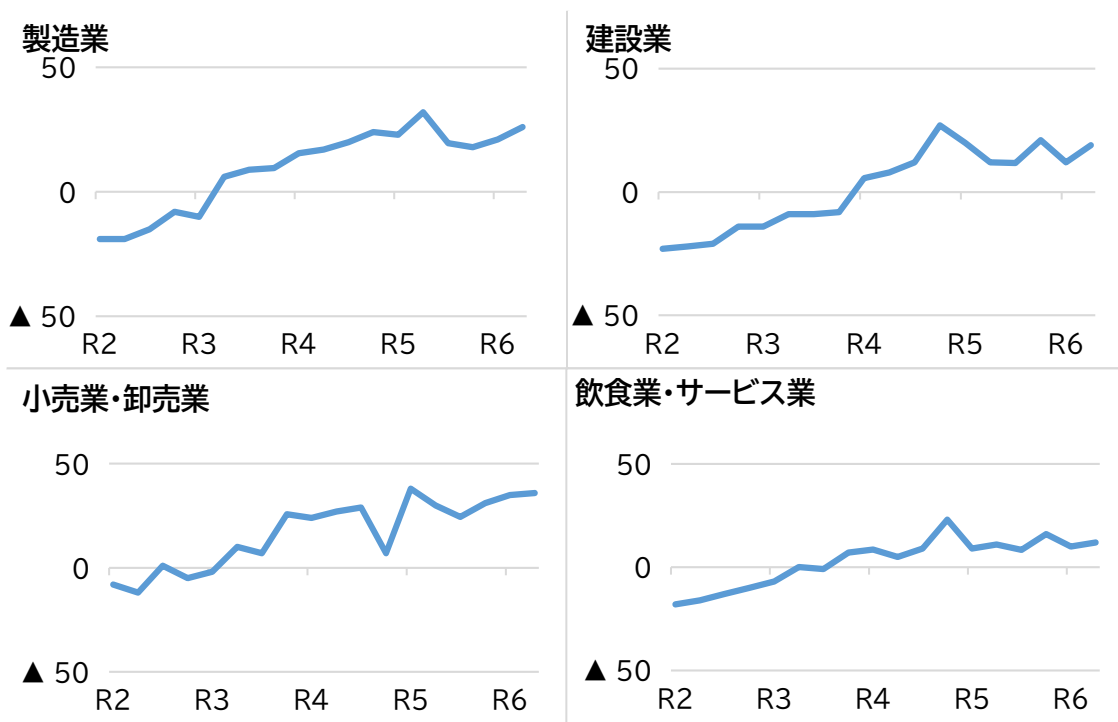
全産業の販売単価DIは、20(前期差3ポイント増)と、若干の改善であった。  
 産業別にみると、小売業・卸売業が36と価格転嫁が進む。製造業は26、建設業は19、飲食業・サービス業は12で、やや改善している。  
 全国値と比較すると、建設業は全国よりも低い水準が続いている。小売業・卸売業は、全国よりもかなり高い状態が続く。

(令和3年10-12月期～令和6年10-12月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「販売単価・客単価DI」を使用。  
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用  
 ※建設業については、全国値は日本商工会議所「早期景気観測商工会議所LOBO/建設業令和6年12月」分類の値を使用

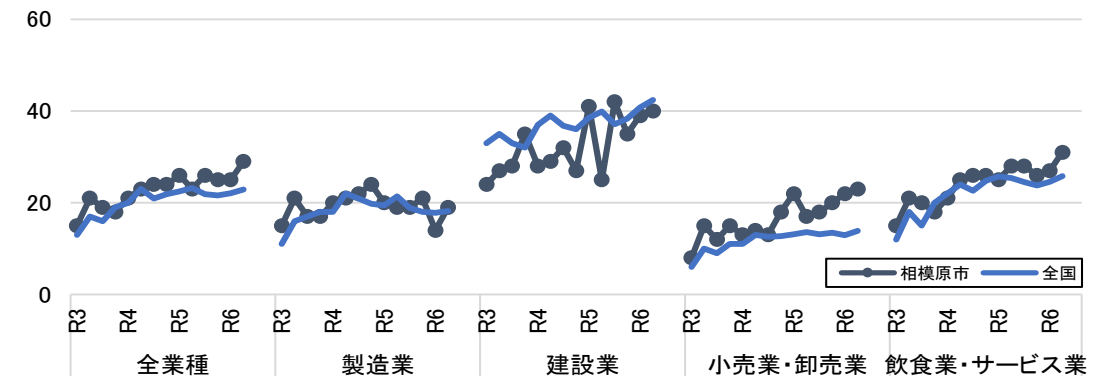
### 参考) 販売単価DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



### 従業員DI(前年同期比)の推移

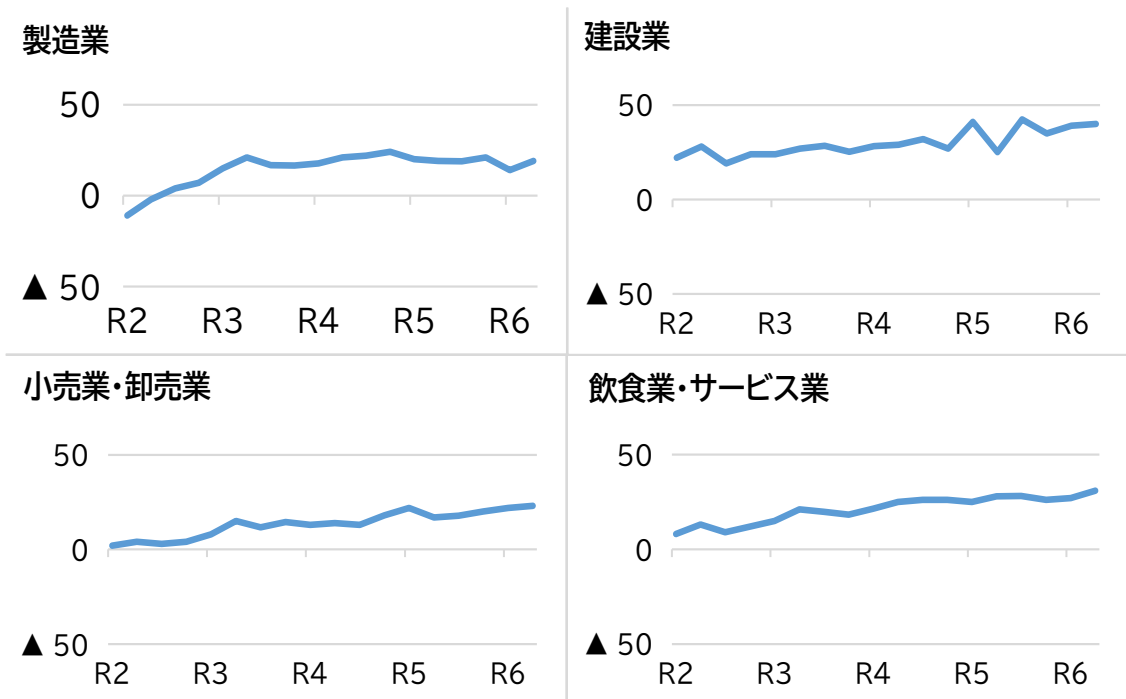
全産業の従業員DIは、29(前期差4ポイント増)で、前期からやや改善した。  
 産業別では、人手不足が続く建設業は40、飲食業・サービス業は31、小売業・卸売業が23、  
 製造業は19で、いずれも前期から小幅の悪化。全業種で人手不足感の高まりが続いている。  
 産業別に今期の数値を全国値と比較すると、特に小売業・卸売業で当市の方が、人手不足  
 感が高い。

(令和3年10-12月期～令和6年10-12月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「従業員数過不足DI」を使用。  
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用  
 ※従業員DIについて、当所では「前年同期比」、中小企業庁は「今期の水準(過去との比較ではない)」を調査  
 ※従業員DIについて、当所では「DI=不足-過剰、中小企業庁は「過剰-不足」で算出。  
 比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

### 参考) 従業員DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



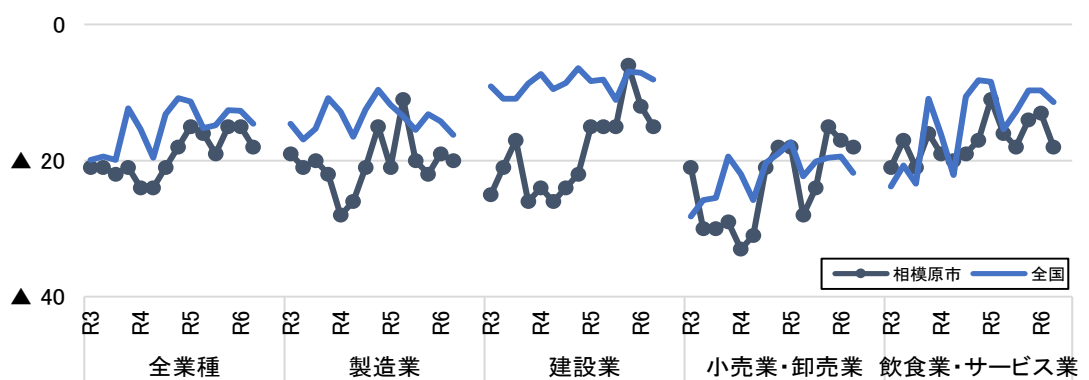
### 資金繰りDI(前年同期比)の推移

全産業の資金繰りDIは、▲18(前期差3ポイント減)で、前期からやや悪化した。

産業別にみると、飲食業・サービス業は▲18でやや悪化した。製造業は▲20、小売業・卸売業は▲18で前期並み。建設業は▲15と、小幅の減少だった。

産業別に当市の今期の数値を全国値と比較すると、小売業・卸売業を除いては、当市のほうが全国よりやや悪い状況となっている。

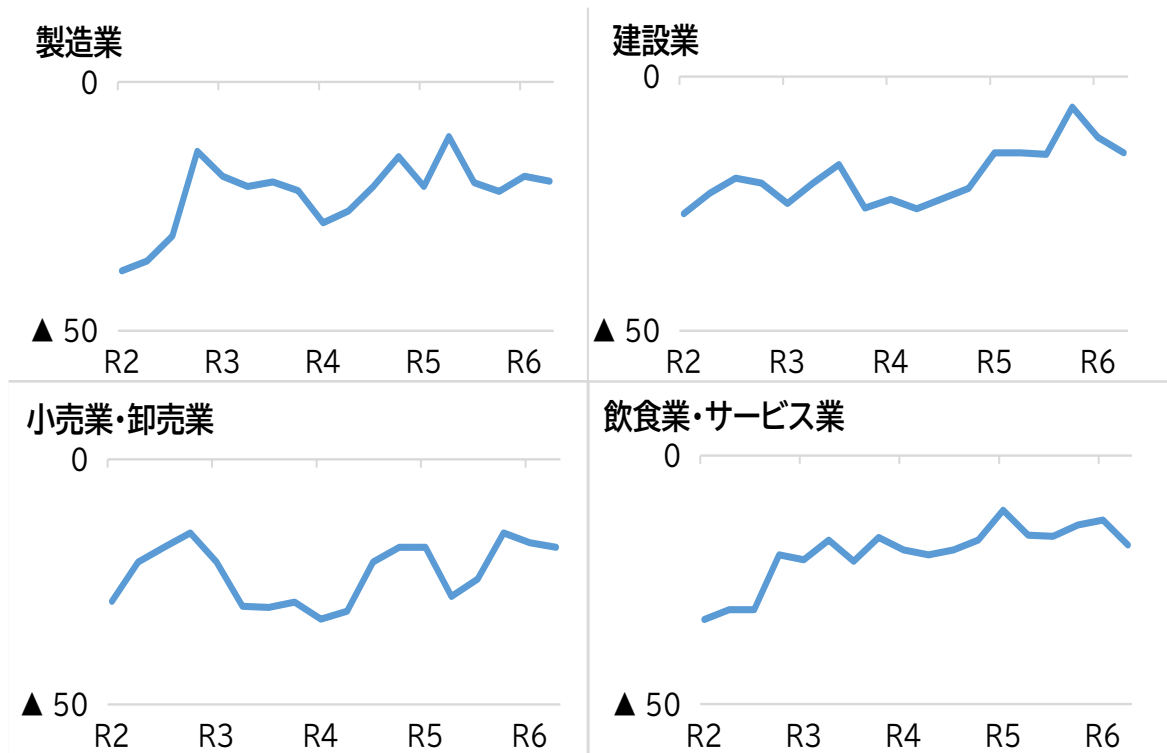
(令和3年10-12月期～令和6年10-12月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

### 参考) 資金繰りDI(前年同期比)の長期推移(業種別)



集計表(景気観測調査)

			今期(R6.10~R6.12)				次期見通し(R7.1~R7.3)			
			売上:増加 採算:資金、総 合:好転 仕入:下落 販売:上昇 従業員:不足	不変	売上:減少 採算:資金、総 合:悪化 仕入:上昇 販売:下落 従業員:過剰	合計/DI値	売上:増加 採算:資金、総 合:好転 仕入:下落 販売:上昇 従業員:不足	不変	売上:減少 採算:資金、総 合:悪化 仕入:上昇 販売:下落 従業員:過剰	合計/DI値
製造業	売上	サンプル数	69	61	74	204	46	102	56	204
		構成比	34	30	36	▲2	23	50	27	▲5
	採算	サンプル数	44	90	70	204	36	109	59	204
		構成比	22	44	34	▲13	18	53	29	▲11
	仕入単価	サンプル数	0	55	149	204	2	99	103	204
		構成比	0	27	73	▲73	1	49	50	▲50
	販売単価	サンプル数	64	129	11	204	31	160	13	204
		構成比	31	63	5	26	15	78	6	9
	従業員	サンプル数	47	148	9	204	35	164	5	204
		構成比	23	73	4	19	17	80	2	15
	資金繰り	サンプル数	12	140	52	204	11	141	52	204
		構成比	6	69	25	▲20	5	69	25	▲20
	業況	サンプル数	33	101	70	204	28	120	56	204
		構成比	16	50	34	▲18	14	59	27	▲14
建設業	売上	サンプル数	48	63	61	172	35	79	58	172
		構成比	28	37	35	▲8	20	46	34	▲13
	採算	サンプル数	24	91	57	172	18	105	49	172
		構成比	14	53	33	▲19	10	61	28	▲18
	仕入単価	サンプル数	2	45	125	172	2	70	100	172
		構成比	1	26	73	▲72	1	41	58	▲57
	販売単価	サンプル数	48	108	16	172	34	122	16	172
		構成比	28	63	9	19	20	71	9	10
	従業員	サンプル数	74	93	5	172	61	108	3	172
		構成比	43	54	3	40	35	63	2	34
	資金繰り	サンプル数	13	121	38	172	11	127	34	172
		構成比	8	70	22	▲15	6	74	20	▲13
	業況	サンプル数	15	100	57	172	15	103	54	172
		構成比	9	58	33	▲24	9	60	31	▲23
小売業・卸売業	売上	サンプル数	26	43	52	121	27	48	46	121
		構成比	21	36	43	▲21	22	40	38	▲16
	採算	サンプル数	13	54	54	121	15	64	42	121
		構成比	11	45	45	▲34	12	53	35	▲22
	仕入単価	サンプル数	0	32	89	121	1	53	67	121
		構成比	0	26	74	▲74	1	44	55	▲55
	販売単価	サンプル数	54	56	11	121	41	72	8	121
		構成比	45	46	9	36	34	60	7	27
	従業員	サンプル数	33	83	5	121	29	96	6	121
		構成比	27	69	4	23	24	71	5	19
	資金繰り	サンプル数	9	81	31	121	10	85	26	121
		構成比	7	67	26	▲18	8	70	21	▲13
	業況	サンプル数	9	55	57	121	11	69	41	121
		構成比	7	45	47	▲40	9	57	34	▲25
飲食業・サービス業	売上	サンプル数	90	152	95	337	79	167	91	337
		構成比	27	45	28	▲1	23	50	27	▲4
	採算	サンプル数	42	176	119	337	42	192	103	337
		構成比	12	52	35	▲23	12	57	31	▲18
	仕入単価	サンプル数	5	150	182	337	6	177	154	337
		構成比	1	45	54	▲53	2	53	46	▲44
	販売単価	サンプル数	73	231	33	337	54	250	33	337
		構成比	22	69	10	12	16	74	10	6
	従業員	サンプル数	108	224	5	337	97	235	5	337
		構成比	32	66	1	31	29	70	1	27
	資金繰り	サンプル数	26	224	87	337	22	238	77	337
		構成比	8	66	26	▲18	7	71	23	▲16
	業況	サンプル数	40	185	112	337	38	198	101	337
		構成比	12	55	33	▲21	11	59	30	▲19
全業種 総合	売上	サンプル数	233	319	282	834	187	396	251	834
		構成比	28	38	34	▲6	22	47	30	▲8
	採算	サンプル数	123	411	300	834	111	470	253	834
		構成比	15	49	36	▲21	13	56	30	▲17
	仕入単価	サンプル数	7	282	545	834	11	399	424	834
		構成比	1	34	65	▲65	1	48	51	▲50
	販売単価	サンプル数	239	524	71	834	160	604	70	834
		構成比	29	63	9	20	19	72	8	11
	従業員	サンプル数	262	548	24	834	222	593	19	834
		構成比	31	66	3	29	27	71	2	24
	資金繰り	サンプル数	60	566	208	834	54	591	189	834
		構成比	7	68	25	▲18	6	71	23	▲16
	業況	サンプル数	97	441	296	834	92	490	252	834
		構成比	12	53	35	▲24	11	59	30	▲19

## 集計表(トピックス)

製造業
ウィンドウズ11への移行に伴い、パソコンの買い換えで設備投資が増える。【半導体製造装置設計】
新事業・新規顧客獲得に避ける時間がない。【水中ドローン、水上ドローン 開発・製造】
物価高。【釣針の製造】
仕入単価の上昇。【精密板金加工】
先行き不透明感。【自動化、省人化、協人化設備の制御盤設計制作】
部材費、加工費の高騰、納期長期化。【工業用自動機の開発、製造、販売】
受注の減少、資金繰り悪化、事業継続に苦難、融資相談が急務。【光学ガラスボールレンズ、ロッドレンズ、等受託加工】
従業員不足、設備の老朽化、従業員の高齢化。【金属機械による部品の加工】
景気がいまだに良くなっていない。【金属部品の切削加工装置の設計製作】
収益率の低下と、企業による印刷物等の内製化。【デザイン、編集、印刷】
顧客ごとにさまざまな業種ではあるが全体的に工事が減少している。見積り依頼は多いが受注には至らない。依頼のあるものは採算の厳しいものが多いです。国内の内需拡大政策をしていただきたいです。【制御盤製作、機械付帯電気配線工事、一般電気工事】
10月以降、引き合い、受注が少し増えてきました。【精密機械部品】
設備投資の低迷、景気悪化。【切削加工、軸受製造】
コロナ禍以降新規案件が少ないまま。製造案件についても縮小傾向。【電子回路設計製造販売】
顧客の設備投資の意欲が減少している。【高速モータの製造販売】
エンドユーザーの単価と我々末端の加工業者の金額がかけ離れている。まれにエンドユーザーの価格を知る時があるので発覚する。極端な話、机しか持たない中抜き業者が4割異以上の価格を抜いて出される。高額な設備投資をしている加工事業者の首を閉めている。【プラスチック加工】
消費が弱い。【ジャズポップコーン・ポップコーン原料豆製造】
4～8月の動きが悪かった。【製缶板金溶接】
受注激減のため従業員の手が余り、やむを得ず休業する日が出ている状況が1年あまり続いている。【電気機械器具製造、ワイヤーハーネス】
原材料の高止まり、光熱費の上昇、最低賃金の上昇に対し、販売価格の推移が比例してあげることが出来ない。【電池部品の成形】
長期円安で採算が悪化している。【電子機器設計製造販売】
コロナ明けイベント開催とスポーツ開催に関連商品が増えている。【不織布製品の企画製造加工販売、イベント用不織布はっぴ、不織布バッグ、巾着、オーガンジー巾着、応援ビブス・等々】
顧客の発注見送りが続いている。【産業用モータ制御装置】
半導体不況が長引く。6年後半から多少の回復、個人消費低迷、中国の景気低迷の影響大。製造業の経営不安は変わらない。【ガラス搬送ケース、粘着テープ】
好転を期待して来ましたが、相変わらずでした。【バフ研磨】
主要取引先の技術、販売力低下による売上減。【機械、装置、製造】
材料単価の上昇、円安の影響。【ヨットのマスト設計・製造他】
生産者の圧倒的な不足に伴う会社全体の経営不振、役員の急逝による各得意先への手続き変更による事務作業員の負担の増加、塗装全般の値上げや各設備の老朽化にかかる費用の採算が取れない。【粉体塗装、溶剤塗装、メラミン塗装、アクリル塗装、エポキシ塗装、ウレタン塗装】
当社は米国メーカーの日本現法で、米国ほか海外から資材の仕入れが大半を占めているため円安の影響を受けやすい。とくに今期は一時的に1ドル160円台をつけるなど、数年前に比し厳しい状況。加えて賃金水準をあげていく政府方針については、従業員の生活水準向上・仕事のやりがいなど意識改善につながるものであり、歓迎するものの、小規模会社のコスト負担力には限界があるためどのように持続的に実施していくか課題。【空圧制御バルブの製造・販売】
エンドユーザーの動きがなく、製造も止まってしまっている。【金属加工】
受注先の偏り 諸経費増加による利益率低下。【金属製品の熱処理】
業種によって、景気の差が激しい。【精密板金業】
受注は、増加傾向にあるが納期が同じ時期になり外注し、利益率が下がる。材料が、見積り時より高くなる。【食品工場向け設備、製造】
①受注案件の減少、②部品加工会社さんの廃業等。【機械・装置の設計・製造】
先行き不安は変わらずある。【通信機器の設計、製造、販売】

開発案件の打診は多いが、製品として量産なるものが少ない。【電気・電子部品の受託開発設計及び受託開発業務に伴う製品の試作・少量生産】
光熱費の上昇 原材料費の上昇。【工業塗装】
業界としては忙しい。【検査治具設計製造、工業用試作モデル製造】
国内産業の空洞化が進んでいくため、国内産業へどのように訴求していくか。【金属表面処理】
製造業を営んでいて、自分の業種の付加価値のなさに絶望を感じています。人件費は上がる一方、受注単価は上げられない状況の中で、やっても儲からない事業に経営者としても、モチベーションが上がらない状況が続いている。【精密切削部品加工製造】
機械や設備などの老朽化及び設備投資や修繕費の価格高騰。【軟質ウレタンフォーム加工及びウレタンチップフォーム製造加工】
周辺の製造業において好況感はない。同業の知り合いの間でも年初より見通しは良くない。【工作機械用部品加工】
日本の経済力が弱い。【機械加工業】
新規事業が始まり、売上は維持出来ているが仕入れ上昇で収益が悪化しています。【発泡強化プラスチック製造業 発泡スチロール加工 断熱パネル製造】
景気は良くないと感じます。【段ボール箱の製造・販売】
電気代の上昇、従業員の給与の値上げ等費用が増えている中、売上げが増加していないので経営を圧迫している。【工場総合設備】
賃金、経費は上昇しているが売価は10年以上変わらない。【部品加工】
採算悪化傾向にあり、思い切った設備投資ができていないため、老朽化した設備を修理しながら使用しており、効率化の改善も難しい。【建設機械製品(シールド機、セグメントほか)】
材料の高騰化が深刻。【制御盤の製作やケーブル加工】
思ったより売り上げがいかない。相変わらず市場が状況良くない。【製造業】
加工単価が上がらない。相見積もりされると仕事が取れない。【金属部品の切削加工】
加工品の単価を上げると転注されるので、価格転嫁できない。【金属部品の切削加工】
注文数が減っている。【金型プレス加工】
社会情勢に左右されやすく、不景気感が増している。設備の老朽化により生産停止や減少がみられ売り上げが落ちている。【軟質ウレタン加工及びウレタンチップフォーム製造加工】
季節的に売上が低下する時期だが、例年以上に不振だった。7年2月頃から好転する見込み。10月からの昇給、光熱費の上昇、賃借倉庫の値上げ交渉などで採算は悪化すると思われる。コスト削減は図るが、生産性向上のための投資はしていき。【各種製品の加工、検査及び包装】
価格転換が不調、円安、人件費高騰、副資材高騰では受け入れられない。【角型紙管、紙アングル、シリカゲル加工】
大きな要因がある訳でもないが、とにかく減少している。理由が多岐にわたる。【段ボール製函紙器一式・包装資材販売 段ボール家具製造販売】
受注単価は上昇したが、それ以上に仕入、消耗品、人件費が上昇した。【自動車部品製造業】
景気が悪化すると賛沢品であるキャンピングカーの販売が減少する。【キャンピングカーの製造販売】
人員不足。【一般食品の製造】
人手不足。人材確保が難しい。【産業用途向け通信機器の開発製造販売】
社員の賃金アップの原資、販売先が減少、注文数の激減、ロボット化、人材、戦争の終結、円安。【段ボール製品の製造、販売 包装資材の販売】
社員を募集しても応募自体が少ない。【鉄・ステンレス・アルミ板などを使用した金属加工業】
売上不振。【金属製品塗装業】
価格転嫁しづらい消耗品の上昇、人件費増加、光熱費の先の見えない価格変動による収益悪化。【非鉄金属旋盤加工】
東京電力の価格がR7. 4月より更に高くなる事。【プラスチック加工】
見積もりから受注が少ない。【金属加工】
月次受注、売上の山谷が激しく、安定した経営が難しい。【溶接機、設計、製造、販売】
優秀な人材が集まらない。【通信機器、音響機器、設計開発生産販売】
電子部品等の調達難、価格高騰。【パッシブ除振台・アクティブ除振台・防振装置・各種防振ゴム・制振材・吸音材・除振工事・防振工事・制振工事・除振コンサルタント・振動測定及び解析】
退職者が増えた。【金属製品製造】

自動車販売の不振により設備投資が減少すると思われる。【インサーキットテスト・インサーキットテストフィクスチャ・ファンクションテスト】
外部環境の影響による収益率の低下。【産業用機械部品製造、組立、自動車金属部品製造】
雇用状況が全般的に厳しく、特に技術者の採用が上手くいかない。【医療機器・産業機器等の開発・設計・製造】
仕入単価上昇分や、従業員賃金上昇分を、なかなか販売価格に反映できない。【高周波応用装置の製造販売】
販売単価が仕入単価等をカバーできてない。【ねじ、ボルト】
外国企業の台頭。【自動包装機械・省力機械の製造販売】
戦争による影響があったように感じている。【半導体製造装置部分品】
国内メーカーの受注が低迷および続く円高。【マグネチックバルブ・グロープラグ】
受注量の増加、人員不足。【電力機器、配電機器、免振・制振・制音デバイス、精密デバイス】
電気自動車の市況変動により、当社プレス機の受注動向にも影響がみられる。【プレス機械、各種自動加工ライン、産業用ロボット、各種自動送り装置、金型等の製造・販売】

<b>建設業</b>
雇用が難しい。【水道工事】
アメリカ・日本の政治情勢不安。【カーテン】
人材不足が特に感じます。協力業者も含め建設業内の悲鳴が聞こえます。仕入れ単価の上昇が客先との交渉で響きます。又、仕入相場が安定せず、ネット販売と競争が激化しています。(保証内容が違います)更に、メーカー、運送等も人材不足なのか入荷が遅く展開が悪くなり売上減少にもなります。【管工事業】
受注数の減少。【リフォーム業】
売上増で忙しいのですが、利益は少ないので不変と思います。工賃がなかなか上げてもらえない。【厨房設備、飲食店向け厨房機器入替えや修理】
人材が不足。【製造業】
人手不足、人手の教育不足。【建物の屋根、壁、雨樋など外装工事】
地域での新築物件、企業の設備投資の減少。【内装工事】
物価高で工事を手控えている感があり工事が少ない。【建築金物加工製造 重軽量鉄骨加工取り付け】
今期に限らずですが、慢性的に不景気、人手不足を感じている。【給排水衛生・空調換気設備】
円安により、資材の高騰 施工費が賃金に追いつかない。人材不足の時がある、外注費の高騰。【管工事業 給排水設備工事・空調設備工事・換気設備工事 消火設備工事・設計施工】
受注が安定出来るかどうか。【内装大工業】
不変。【総合建設業】
物価上昇に販売単価が反映されない。【リフォーム】
建設営業では資材上昇、借入金利上昇は痛手となっています。【有料老人ホーム等福祉施設建設】
人件費が高い割に見積になかなか転嫁することができない。【塗装・防水工事】
粘り強く頑張ります。【シロアリ消毒業】
建設業等の作業員の減少。【建設業】
従業員不足。【機械据付】
不動産関係の場合、土地単価の上昇により仕入価格が高くなり販売に影響。客離れが起きている。高止まりしている。【建売住宅の販売、土地建物売買、仲介賃貸業】
人手不足。【造園】
資金繰り。【リノベーション工事】
不景気。【解体業(建設業)】
民間工事の減少、現場遠方の為交通費上昇。【製造業】
仕入単価を含む諸経費の上昇と人手不足。【管工事業】
採用に関して、提示する給与額を上げているが相変わらず応募がない。【ビル、建築設備の空調、給排水ほか保守点検及び工事】
繁忙になっているが、ある程度は従業員数で収益が決まるため、作業員数を超える依頼は断っている。【ポンプ・送風機のメンテナンス】
新築戸建ての減少。【サッシ施工・販売】



仕入れ単価の上昇。【エクステリア施工販売】
お客様の要求が多い。レベルが高い。ネットの価格が相場と勘違いしている。実勢価格との乖離。【リフォーム】
従業員不足。【管工事・電気工事】
下請業者の減少。【電気工事】
仕入単価の上昇。【リフォーム 不動産再販】
人手不足。【空調設備工事】
競合他社が後継者不足や過剰投資などで経営を辞めていく会社が年々増加している 仕事の量はさほど増えてはいないが職人不足と職人の技術不足で現在残っている会社も仕事が受注しづらい、または進まない状況。【看板製作・設置・金物製造】
エネルギーコスト上昇や運送会社等の労働規制の影響もあり、全ての資材費や残土処分費などが15から20%アップしている状況。【エクステリア 外構工事】
昨年が好調過ぎただけで今年度が特に悪いという訳では無いので、特に大きな問題は今のところなし。【空調設備工事 換気設備工事 給排水衛生設備工事】
景気の鈍化の懸念。【内装工事(店舗工事、オフィス工事、造作、木工、LGS、ボード、建具)】
建築資材の高騰 働き方改革への対応(週休2日制対応への難航)。【建築物の新築・改修工事の設計施工】
補助金による特需があつて好調ではあり、来年も引き続き補助金を行う予定とのことではあるが昨年から続いている補助金の今期2期目を迎え昨年と比べ依頼数が減ってきている為、来季への期待が薄目。【エクステリアの工事 販売】
人手不足。【施工管理】
仕入単価の上昇。【建設業】
前半はコロナの影響も和らぎ一斉に現場が稼働して業績は向上したが、今期は通常に戻った。【電気設備工事業】
人員の確保ができていない。【測量、大工工事業】
完工に対する入金遅れが重なる。【建築、リフォーム、エクステリア、設計・施工】
従業員不足。【給排水】
各工事原価の上昇は落ち着いてきた感がありますが、今期後半以降の公共・民間工事の受注が減少の見込みであり、収益率が減少する懸念があります。【土木建築工事の施工】
工事受注は1年先の計画も施工依頼が来ている状況ですが、工事量自体が減っていると思います。また、繁忙期と閑散期がはっきりと分かれてしまっているので、仕事が分散されれば特に問題はないですが、一気に仕事が舞い込んで来る為、経費が通常より掛かり、負担になっている 週休2日も少しずつ進んでいるが、完全に週休2日になった場合は現状だと労働者の賃金が目減りして、生活水準が低下するだけなので、処遇改善を行わなければなりません。【鉄筋工事】
民間の工事が働き方改革、原材料の調達困難から大幅に後期の設定を伸ばしてきている。予算、工期の合わない仕事は「受けない」が、本格的になってきた感。また、人手不足から、決まった現場は半年後であっても「予約」されてしまい、旨く短納期の仕事が埋まらず、困っています。【管工事】
従業員の不足。【電気工事業】
募集をしても 人材が集まらない。【電気工事業】
公共、準公共工事の発注は堅調だが、資材価格、人件費高騰により採算面では楽観できない状況が続く。【建設業】
客先にて設備投資が行われないので、仕事の見積もり依頼も無い状況です。【電気工事業】
監督不足。【工業・事務所・住宅リフォーム】
人手不足。【建設業】
中堅クラス(30代~40代)の人材不足。【硝子工事業及び塗装工事業】
投資意欲は旺盛な反面、建設業界の深刻な人出不足は継続しており、計画的・戦略的リソースマネジメントが肝要。労務逼迫、資機材コスト動向を注視しつつ、更なる利益改善に取り組む必要がある。デジタル活用、人材育成、協力会社との連携など中長期を見据えた現場力の強化が必要。【土木、建設工事請負業、不動産事業】

<b>小売業・卸売業</b>
仕入れている物が供給不足で困っています。【写真機材、写真プリントの販売】
漸く上昇機運は出てきたが、実質的な景気上昇の状況には無い。【非鉄金属部品等の加工・販売】

輸入先の廃業や生産終了などで、販売する製品のバリエーションが減ってくるので、その分を何で補って いくかが課題。【エアコンプレッサー及びその周辺機器の卸売(一部製造)】
個人消費の落ち込み。【衣料品、化粧品】
円安による輸入量が増加。【健康食品の卸売業】
業績が厳しくなる中での、仕入先からの要求が厳しい。例えば、仕入先から取引継続にあたり保証金を 積むことを求められる。応じないと事業に支障をきたすので応えるしかないが、その資金は投資でも運転 資金でもないただの塩漬けの資金。このように売り上げ不振を挽回しようにも、財務体質を改善しように も、仕入れが足をひっぱっている。【機械工具、工業系副資材】
海外需要活況・国内顧客減速。【金型部品の輸入・販売】
若年層の就業定着率低下。【住宅設備機器】
在庫を抱えすぎる客先が多く、受注が減少している。【電子部品の販売】
物価高騰から個人消費の回復も見えず厳しい状況が続く。【地方卸売市場(青果)の運営】
当社主力商品米穀取扱量や米価の動向が不安定であり、仕入れ状況が例年と違う動きをしているので供給 量の確保が未定。【米穀製造、販売業務】
電気・ガス・水道・灯油・ガソリン・食事に関わる値上げが長期に値上げし続けて、消費者が財布の紐の固い 品目に当たり来客数が減っている、買い控え、困っている。休みなし営業している。相模原市も東京都のよ うな還元セールしてもらいたい。【メガネ、補聴器、コンタクトの相談、検査、調整、販売、アフターメンテナ ンス】
今期を通じて、個人消費の低迷を感じており、今後も明るい見通しはないよう思います。今夏の異常高温 による農作物の遅れが顕著であり仕入れ単価の高止まりが続いており、非常に厳しい状況が続いていま す。その他保険料の上昇や税金など負担が重く、今後も継続できるかと不安に思っているところです。【生 花・園芸販売】
円安とウクライナ紛争と中東の紛争による物流コストや原材料費の高騰で輸入商品の販売価格と仕入れ 値が急激に上昇しており、販売価格を抑える為の対策としてクオリティを下げるか、考慮せずに50%以上 上がった価格で仕入れて売れるかの判断を迫られております。また、気温の高い日が続き、9月10月で例年 販売すべき秋冬商品が全く動かず、結果として売上高が極端に減少し、仕入れを先送りする以外の有効 な対応策がない為に苦しい状況になりました。11月以降の気温の推移が今年は寒くなるとの予報になっ ておりますので、期待しております。【紳士服・婦人服・靴・鞆・その他服飾雑貨小売】
競合他社の増加、個人消費の低迷などにより、Eコマースの売上不振が続いております。【玉葱皮茶など】
業種から全体的にこれからはますます悪化すると思う。【小売業】
介護収益率の低下 商品単価の上昇 賃金の上昇。【福祉用具貸与販売 訪問介護 介護タクシー】
若い層の顧客の減少。リピーターのお客様で何とか営業しているような感じです。ネットでは分からない使 い心地をアピールしています。【オーダーカーテン、カーペット、インテリア小物販売】
個人顧客の機器買い替え低迷。法人向けの過装置販売は、若干好調。【24時間風呂・風呂ろ過装置 販売・ 施工・メンテナンス、消耗品の販売】
来店客数の著しい減少およびそれに伴う売上高の減少傾向。【主に特産品】
長期継続の案件が少なく、短期・単発契約案件が増えている。【省庁向け資材・機材の企画開発・販売 ネット ショッピングモール内店舗運営】
食品の値上げの影響大。【寝具用品販売、一部衣料】
運送費など経費がなんでも値上りしているが、ユーザーに対しての値上げがなかなか難しい。【LPガス、灯 油、リフォーム】
諸物価値上りによる個人消費の低迷。【メガネ、コンタクトレンズ、補聴器の販売】
個人消費の低迷。【衣料品小売販売】
必要なもののと単価が下がったものになった。【小売業】
最低賃金規程上昇で人件費が増加。仕入価格上昇に価格転嫁が見合っていない。よって利益率は減少。得 意先の売掛金回収サイトを短くしたいが長年の慣習を変えることが難しく資金の流れが悪い。【IT機器、オ フィス用品】
消費が落ちている。【釣り具販売】
新商品発売などで上期は若干回復傾向だったが、当社は冬になると売上が落ち込む傾向にあり、10月時 点ですでにその傾向が出ている。【オーダーメイド枕、寝具の製造販売】
リフォーム、相手先に環境改善への提案が実を結びつつある。【家電品販売及太陽光、LED化等の電気工 事】
人材不足。【小売業】

メーカーの新車標準装備品が増えることで、ナビ、ドラレコなどの電装品販売が落ち込み続けた。【カーショップ メンテナンス 自動車保険 新車、中古車販売 キャンピングカー製作】
個人の消費意欲は年金生活者を中心に特に悪い。年々上がる最低賃金により経費も上がりきびしい経営状況です。【コンビニエンスストア】
社会保険料の上昇によること。【弁当、総菜等販売業】
医薬品、化粧品、食品類で仕入れ価格の上昇が続いています。【医薬品、化粧品、食品類】
相模原省エネの反動がエグい。【小売業】
若干ではございますが、従業員の定着が難しくなっている感触がございます。決定的な要因はないものの漠然とした、転職意識のようなものが芽生えやすい状況へと変化していると感じます。【四輪自動車の販売(新車・中古車) 自動車の整備・修理・点検・車検 損害保険代理店業務、レンタカー、電動車イスの販売・修理】
続く物価の高騰により商品単価、客単価は高い状況が続いています。点数、客数の減少が不振の要因となっています。【衣料品、住まいの品、食品】

<b>飲食業・サービス業</b>
販売単価を上げたところ、需要が減った。【生ジュース調理販売】
物価高の影響による消費者の来店減、仕入れ単価がすべてにおいて上昇。【料理、飲料全般】
飲酒人口の減少。【アジフライ、海鮮】
仕入れ単価の上昇の連続。【居酒屋】
今年に入ってさらに、物価上昇、仕入れ単価の上昇、個人消費低迷など全体的に景気悪くなってきました。また中東の戦争の拡大で、日本にも影響でてきてます。製品販売終了や品物がなど入ってこないなど増えてきてます。【海鮮居酒屋】
販売価格の値上げについて、消費者の理解を得られているか微妙。近くに住宅展示場ができた為、好転の有無を注意深くみている。【ジュースの調理販売】
仕入単価の高騰、人件費の上昇で料理価格を上げなくては経営できなくなる。価格を上げればお客様は回数が減るようになる。【昼ランチ定食、居酒屋、各種宴会】
コロナ禍明け、フェスやイベント増え値上り値上りで個人消費の低迷を強く感じます。【カフェ】
飲食店の厳しさ、JR相模原周辺が閑散としている。【飲食業・宿泊業】
仕入単価の上昇で思うようにならない、事故従業員の給料の上乗せもままならないのが現状です。【中国料理】
仕入単価の上昇により、値上げをする必要がある。最低賃金の上昇で、人件費の圧迫により、経費コントロールに難。【お好み焼き店】
悪化、店舗減少。【飲食業・宿泊業】
コロナから何もかわっていない。【そば、うどん、和食】
周辺住宅建設ラッシュで今後來客増期待？【焼鳥、揚物、総菜や】
アルバイト、パートの確保が大変。賃金の上昇も、原材料の高騰。【ラーメン】
コロナ過が終息すると共に急激な利用増加傾向が見られます。前年度及びコロナ禍前と対比しても売上、利益ともに増加しており順調な推移となっています。しかしながら各種経費(食材、水道光熱費、リネン費など)は増加の一途であり油断出来ない状況に変わりありません。【ホテル運営(宿泊・飲食)を展開】
個人消費の減少とともに、企業利用も徐々に減少していると感じる。インバウンドの取り込みが必要だが、まだ都内集中から抜けだせていない。【宿泊】
仕入れ価格の上昇。【中華料理レストラン】
電力ガス、水道料金の上昇、食材の高騰により収益率の低下。コンスタントに賃金が毎年上がる等の要因に、価格転嫁が間に合わない。【ラーメン専門店】
物価高騰、仕入の単価上昇でかなり厳しくなる。【飲食業・宿泊業】
競争の激化、代金回収の困難。【軽貨物運送、駐車場清掃管理】
依頼業者の減少。【一般貨物自動車取扱事業】
売上が増えないのに、人件費が増えて利益率が下がってしまう(最低賃金が増える事により)。【運輸業・倉庫業・梱包業】
毎年の最低賃金の上昇に売上原価が追い付かない。【高圧ガス鋼材 自動車部品】
労働者が不足。【運輸事業】
運送単価の値上げ交渉が難しい 募集中だがなかなか運転手がみつからない。【一般貨物自動車運送事業】

仕入れ単価や諸費用はすべてにおいて増加しているが、根気強く値上げ交渉をさせていただいたおかげで、応じていただける客先もあり働き方改革の影響を受けずに済んでいる。【自動車部品】
運転手の不足と運転手の高齢化。募集しても人が集まらない。また、2種免許が必要となっているため採用の基準がたかくなってしまう。【貸切旅客運送事業 乗合旅客運送事業】
最近の消費者動向。【生活用品の原料】
とにかく人手不足。【海外引越の現場作業】
協力会社の確保。【一般貨物運送事業、ロジスティクス請負業】
売上低迷の原因がわからない。【梱包業】
荷主のコスト削減。【貨物軽自動車運送事業】
季節変動が毎年のように大きく変化しているので消費の動向が読みにくくなっている。【加工食品、酒類、菓子、雑貨等の入出荷及び在庫管理】
荷主の業績悪化に伴う減産休業により売上大幅減している。【部品・一般雑貨の輸送保管】
採用募集をかけても応募自体が来ない。【ソフトウェア開発】
物価高とそれに対して販売額転嫁が難しいこと。【グリーンレンタル】
販売減少。【不動産業・物品賃貸業】
設備の老朽化により修繕や、取り換え等にかかった。【不動産業・物品賃貸業】
価格の上昇。【不動産仲介】
個人向けの所有戸建ての動きが悪い。【不動産仲介】
人手不足。人件費上昇。【不動産賃貸全般】
不況感を感じる。戸建住宅の動きが鈍い。【宅地開発企画・販売 土地建物売買の仲介 賃貸物件の管理・仲介】
建物建築費の上昇が収まらない。【売買と賃貸の仲介、賃貸管理】
不動産流通における民需実需停滞が続いている。その為、資本力の差が出てきていて小規模業者の廃業整理増加の入口に入ってきた。【マンション買取再販・仲介・管理・コンサル】
上記の通り建築工事費の高騰による建物(販売用)の減少。よって土地活用の選択肢の減少。【権利調整、不動産コンサルタント、不動産仲介】
物価高及び金利の上昇により消費者の購買力がなくなっていると思う。【宅地分譲、土地建物売買仲介、その他土地建物管理】
一般ユーザーの消費欲の冷え込み。【売買仲介、買取再販】
賃貸物件18~22㎡1K(ワンルーム)空室多い。物件高でリフォーム代金増、人件費増、(時給上げてても求人来ない)。【不動産賃貸管理業仲介】
人手不足(特に職人)。【不動産業・物品賃貸業】
物価高による管理コストや修繕コストの増加に対して、賃料水準の上昇が連動しておらず、今後の採算への影響を心配している。【不動産賃貸業】
建築資材の高騰。【不動産賃貸の管理、仲介】
東京都八王子市町田市と隣接し東京側は、何につけても控除や補助金が活用できるのに対し、相模原・神奈川はできていない。人口をどんどん奪われていく！！【分譲、注文、特権の土地・建物行】
販売価格は変わらず、光熱費や燃料代が上がっているの、苦しい。【便利屋、おうちの御用聞き】
来店サイクルの間隔が伸びている。【美容業】
高齢化の為に来店しなくなった(新規お客様来店なし)。【美容業】
販売するモノが確保できない。【写真プリント】
コロナ後も売上伸びず。【理容】
人手不足。【カット・パーマ・カラー】
円安の間は円安で特になる事業をするしかないの、でそうしています。【撮影、web】
少しずつ好転の兆し有。【健康増進を目的としたトレーニングジム】
今期も含め今後も台湾有事や地震などの災害。【美容室】
来店サイクルが長くなった。そのため月間客数が減った。輪をかけ仕入れ単価が上がり、電気、ガス料金も上がったため最悪です。【一般理美容】
代表者高齢化。【全身美容業】
大型安売店舗が、駅近くに多数低価格でオープン。【美容業】
ようやくコロナ禍からの脱却が感じられるが人の集まりについてはまだまだ敏感。【葬祭業】

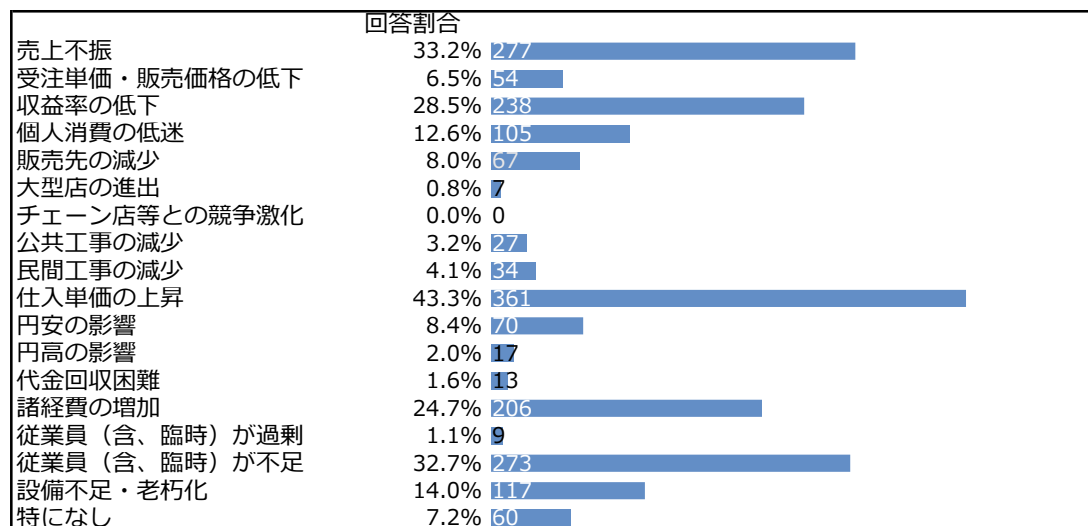
経年劣化により設備等の修繕をする必要があるが物価高騰などによる影響で修繕費が以前よりかかってしまう。水道光熱費など固定費に関するも予想以上に高くなっていると感じる。【遊技場(パチンコ店)経営】
物価高により一般消費者の生活が苦しい為、販売業績の不振が続いている。【ダスキンが扱う商品、サービス全般】
最低賃金にコスト増大。【洋服直し】
円安による海外旅行代金の高騰を理由とした利益減。【旅行業】
物価の高騰により、値上げ交渉が難航。【社会保険労務士業】
現在普及しているAIは全て、人が事前に設定した判断・評価・処理などを、同じく人が事前に設定した条件・指示により再現するもので、コンピュータは判断ができないため、特定のタスクに特化した処理にしか利用できない状況がある(例:自動運転AI、医療診断AI、将棋AI、ChatGPTのような自然言語処理AI)が、自ら判断できるAIと、できないAIの違いを理解している人は少なく、その違いと大きく異なることができることの違い(成果レベル)を伝えるのに苦慮してきた。しかし、弊社AIの紹介動画が完成し、SNS上でのリーチ数も増え、各種コンテストにも提案できる状況ができたため、今後少し希望が持てる状況になってきていると感じる。【IT&AI開発コンサルタント】
1. 事業活動関係物価上昇で、諸経費増加が見込まれる。2. 取引先の顧客は、設備投資意欲が高いが、費用高騰や設備納期長期化が課題となっている。3. 脱炭素や省エネの必要性を経営者は理解しているが、人材面で改善できていない。【プレス機械関連の自動化・システム化と安全評価、品質保証活動】
物価の上昇に伴う経費増加。【公認会計士・税理士業】
郵送料の増加、パソコンの進化に追いつけない。【社会保険労務士業】
仕事量と従業員の割合が比例しない事。【設計業務】
民間の住宅建設が著しく減少、土地価格の高騰により取引が減少。【土地の測量、土地建物の表題部の登記】
人材不足。【行政書士、社会保険労務士】
人材不足。【税務書類の作成】
人手不足かつ、最低賃金の上昇は中小企業の経営を圧迫します。【会計事務所】
12日で廃業予定。【税務・会計】
求人者の困難さ。【税理士】
同じ業界でも調子の良い会社と悪い会社と2極化が進んでいると同時に、同業者の高齢化による廃業も進んでいるように感じます。【産業機械の設計製図および製造】
物価の高騰に伴い、従業員の生活の質の低下を防ぎたいので、常に賃金アップを考えている。【動物病院】
若い世代の採用難。【税理士】
経営外部環境が、大きく変化している。【専門・技術サービス業】
受注の状況。【機械設計】
従業員の採用が難しくなっている。【税理士業】
売値の下落。【産業廃棄物処理業(非鉄)】
売り上げ不振。ニュースではバイト代1,500円以上と謳って居るけれど、それだと人が雇えない。500円くらい国が補助してほしい。【リドンブランドの販売、うらない、カラーコンサルタント等】
お金を使う人が減った。【その他のサービス業】
売上不振。【人材紹介 人材派遣】
特に変わらず。【通信機器設置・販売・保守】
円高の影響が響いている。特に原材料費全般の高騰、ガソリン価格の高騰、10月からの最低賃金の上昇、個人消費の低迷。【墓石清掃、墓参代行、墓石クリーニング、墓石コーティング、墓石メンテナンス、石材特殊清掃(重要文化財、文化遺産等の石造物)、埋葬業務全般】
賃金上昇すると社員の生産性の釣り合いが悪い。【建築物清掃】
個人消費の落ち込みを感じます。【電気楽器用アンプ類、機材等の修理と販売】
ベテラン技術員(機械のすり合わせ、組立、電気関係ソフト、開発)不足している。【その他のサービス業】
銅相場上昇で売上アップ、設備処理能力不足、従業員不足。【産業廃棄物リサイクル】
仕入単価の上昇。【自動車板金、修理】
従業員不足により仕事が取れない。国の方針により、賃金は上げなくてはならないし、労働時間の制限はつけてくるは、優遇措置ばかり言って我々零細企業のことは考えてない!【自動車整備】
資機材の価格高騰。【高圧洗浄作業】
コロナも収まり、ようやく増益見込み。【人材派遣業】

慢性的人材不足、資機材の高騰、契約金の見直しによる減額、後継者問題。【建物維持管理業(ビルメンテナンス)】
国内回帰の企業が増えそうな経済で需要がありそうです。【構内請負・製造派遣】
従業員不足。【ビルメンテナンス事業】
従業員が管理部門生産部門ともに不足している。求人活動に力を入れているが思うように集まらない。外国人労働者の反応は良いが日本人が集まらない。【自動車整備業】
従業員が不足。賃金を引き上げ、採用を強化しているが、採算は下落基調である。【廃棄物処理・再生資源卸売】
福利厚生制度の整備・充実、職場環境の改善。【設計受託・請負業務・労働者派遣事業・求職者支援訓練事業】
毎年の最低賃金上昇に関して理解ある顧客先は請負単価を上げてくれました。しかし顧客先も苦しい状況かと思っています。国会では最低賃金1,500円を目指していますが今後の企業にとっては厳しいものになると存じます。【ビルメンテナンス業・清掃管理業務 日常清掃、定期清掃、特別清掃、害虫駆除・環境衛生管理業務 空気環境測定、水質検査・設備管理業務 貯水槽保守点検、排水設備保守点検 給水設備保守点検、空調設備保守点検】
人員不足、物価高騰による経費上昇。【廃棄物処理、建物清掃業、工業薬品販売業】
パート採用に苦勞しており、欠員状態が続いている。【清掃・警備・設備保守】
自治体関係における講座が多かったため、講師料が少なかった。【研修講師、講演、ワークショップ、コミュニケーション研修】
従業員スタッフが慢性的に不足している。【接骨院(自費施術中心)】
お客様がたくさん増えて予約がいっぱいです。【全体の施術】
コロナの影響で物作りが大幅に減少。その影響で部品(レンズ)の出荷が大幅に減少。この状態は次年度も引き続き模様。【特殊光学レンズの輸出】
大型施設への重要はあるが、小さい施設への影響が薄い。【介護デイサービス】
ネット集客が年々難しくなっている。【鍼灸整体】
新規事業によって売上増加予定。【健康管理】
従業員を減らしたので、売上が少なくなる。【接骨院、鍼灸院】
給与水準が少しずつ上がっていると感じる。【児童発達支援・放課後等デイサービス】
雇用状況。【保険代理店】
個人消費の低迷による売上不振。【プロサッカーチームの運営。】
利上げ後一時的に受注が減ったが直ぐに持ち直し現在は微増傾向。来年も微増傾向は続くと思われたので若干の設備投資を行った。雇用状況は従業員が減り人件費が抑えられた反面、残った従業員の負荷が上がリドミノ倒しのように更なる従業員の減少が心配。かといって求人を出しても応募がない。【障害福祉サービス】
人件費上昇、競合激化。【訪問看護】
物価上昇、賃金上昇。【保育所運営】
責任者変更による引き続きの難しさ。【障がい者福祉事業】
ワークライフバランスを重視している求職者が増加している。【障害福祉サービス】
円安基調の長期化、エネルギー価格の高騰。【中小企業金融】
人材不足。【金融業、銀行】

## 経営上の問題点

### 単純集計

経営上の問題点(3つまで回答可、n=834)



### 製造業

今回調査を見ると、「設備不足・老朽化」「売上不振」が増加し、「円安の影響」「収益率の低下」「受注単価・販売単価の低下」が減少した。長引く不況で設備投資が進んでいないようである。

	R5年10~12月 n=161	R6年1~3月 n=153	R6年4~6月 n=153	R6年7~10月 n=209	今回調査 n=204
売上不振	33.5%	37.3%	36.6%	44.5%	46.6%
受注単価・販売価格の低下	10.1%	11.2%	10.5%	11.5%	8.3%
収益率の低下	24.0%	26.7%	33.3%	33.5%	30.4%
個人消費の低迷	1.1%	1.2%	3.3%	4.3%	5.4%
販売先の減少	8.4%	9.3%	5.2%	10.0%	8.8%
大型店の進出	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
チェーン店等との競争激化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公共工事の減少	1.1%	1.2%	2.0%	1.0%	0.5%
民間工事の減少	1.7%	1.9%	0.7%	2.4%	2.5%
仕入単価の上昇	42.5%	47.2%	49.0%	48.8%	50.0%
円安の影響	15.1%	16.8%	16.3%	16.7%	13.7%
円高の影響	1.7%	1.9%	0.7%	1.9%	2.5%
代金回収困難	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	1.0%
諸経費の増加	26.3%	29.2%	26.8%	20.6%	19.6%
従業員(含、臨時)が過剰	0.0%	0.0%	1.3%	1.4%	1.0%
従業員(含、臨時)が不足	24.6%	27.3%	28.1%	23.4%	21.6%
設備不足・老朽化	13.4%	14.9%	18.3%	19.1%	24.0%
特になし	6.1%	6.8%	3.9%	4.3%	6.4%

## 経営上の問題点

### 建設業

前期と比較して、「公共工事の減少」「売上不振」が増加した。「円安の影響」「受注単価・販売価格の低下」「諸経費の増加」が減少した。公共工事の減少により売上が影響を受けているようである。

	R5年10~12月 n=161	R6年1~3月 n=153	R6年4~6月 n=153	R6年7~10月 n=157	今回調査 n=172
売上不振	20.5%	24.2%	14.1%	21.0%	23.8%
受注単価・販売価格の低下	12.5%	14.7%	14.1%	13.4%	7.0%
収益率の低下	24.1%	28.4%	35.3%	24.2%	24.4%
個人消費の低迷	6.3%	7.4%	5.9%	5.1%	5.2%
販売先の減少	3.6%	4.2%	5.9%	5.1%	5.8%
大型店の進出	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.6%
チェーン店等との競争激化	0.9%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
公共工事の減少	12.5%	14.7%	12.9%	7.0%	12.2%
民間工事の減少	9.8%	11.6%	12.9%	15.9%	15.7%
仕入単価の上昇	37.5%	44.2%	55.3%	53.5%	51.7%
円安の影響	6.3%	7.4%	2.4%	6.4%	2.9%
円高の影響	0.9%	1.1%	0.0%	3.2%	1.2%
代金回収困難	1.8%	2.1%	0.0%	3.8%	2.9%
諸経費の増加	19.6%	23.2%	27.1%	26.8%	22.1%
従業員（含、臨時）が過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%
従業員（含、臨時）が不足	30.4%	35.8%	42.4%	47.1%	48.3%
設備不足・老朽化	4.5%	5.3%	4.7%	7.0%	5.2%
特になし	7.1%	8.4%	5.9%	4.5%	6.4%

### 小売業・卸売業

「売上不振」「収益率の低下」が前期から増加し、「個人消費の低迷」「販売先の減少」「個人消費の低迷」、「諸経費の増加」「設備不足・老朽化」が減少した。卸売や法人向けの販売などが低迷しているものと思われる。

	R5年10~12月 n=161	R6年1~3月 n=153	R6年4~6月 n=153	R6年7~10月 n=123	今回調査 n=121
売上不振	36.1%	40.7%	41.1%	34.1%	41.3%
受注単価・販売価格の低下	4.1%	4.7%	8.9%	8.1%	6.6%
収益率の低下	26.8%	30.2%	35.6%	20.3%	28.9%
個人消費の低迷	26.8%	30.2%	30.0%	31.7%	24.8%
販売先の減少	16.5%	18.6%	17.8%	20.3%	13.2%
大型店の進出	2.1%	2.3%	1.1%	0.8%	2.5%
チェーン店等との競争激化	1.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
公共工事の減少	1.0%	1.2%	1.1%	0.8%	0.8%
民間工事の減少	0.0%	0.0%	3.3%	4.9%	0.0%
仕入単価の上昇	47.4%	53.5%	41.1%	47.2%	43.0%
円安の影響	14.4%	16.3%	25.6%	13.8%	12.4%
円高の影響	1.0%	1.2%	1.1%	0.8%	5.0%
代金回収困難	1.0%	1.2%	1.1%	1.6%	2.5%
諸経費の増加	19.6%	22.1%	18.9%	24.4%	18.2%
従業員（含、臨時）が過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	2.5%
従業員（含、臨時）が不足	14.4%	16.3%	15.6%	22.0%	22.3%
設備不足・老朽化	8.2%	9.3%	13.3%	13.0%	9.9%
特になし	2.1%	2.3%	1.1%	4.1%	3.3%



## 経営上の問題点

### 飲食業・サービス業

「仕入単価の上昇」「収益率の低下」「諸経費の増加」「従業員が不足」が増加し、「売上不振」、「円安の影響」が減少した。仕入や経費の上昇の影響は続いているようである。

	R5年10~12月 n=161	R6年1~3月 n=153	R6年4~6月 n=153	R6年7~10月 n=209	今回調査 n=337
売上不振	26.2%	30.9%	27.6%	29.6%	27.0%
受注単価・販売価格の低下	5.4%	6.4%	4.4%	6.6%	5.0%
収益率の低下	23.7%	28.0%	26.3%	27.2%	29.4%
個人消費の低迷	12.2%	14.4%	17.1%	15.6%	16.3%
販売先の減少	7.9%	9.3%	5.3%	6.3%	6.8%
大型店の進出	0.7%	0.8%	0.9%	0.0%	0.9%
チェーン店等との競争激化	0.4%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
公共工事の減少	1.1%	1.3%	1.8%	1.5%	1.2%
民間工事の減少	1.8%	2.1%	1.8%	2.4%	0.6%
仕入単価の上昇	26.2%	30.9%	30.7%	27.8%	35.0%
円安の影響	6.1%	7.2%	7.0%	8.1%	6.5%
円高の影響	0.7%	0.8%	0.9%	2.4%	1.2%
代金回収困難	2.5%	3.0%	2.2%	1.5%	0.9%
諸経費の増加	25.4%	30.1%	26.3%	27.8%	31.5%
従業員（含、臨時）が過剰	1.1%	1.3%	0.0%	0.9%	0.6%
従業員（含、臨時）が不足	25.4%	30.1%	32.5%	32.9%	35.3%
設備不足・老朽化	10.0%	11.9%	11.8%	15.6%	13.9%
特になし	9.3%	11.0%	13.6%	12.3%	9.5%